



# さざんくるす

JULY 1st.2015  
vol.41

武蔵坊弁慶生誕の地  
源平時代その勇武機略を似て活躍した怪傑武蔵坊弁慶は熊野の別当湛増の子としてこの田辺の地に生まれた。市内には弁慶井戸、生湯の釜、弁慶松、腰掛石等が遺っている。弁慶衣川に死して既に782年。今ここに弁慶を顕彰するため橋堅次郎氏の篤志により高岡市の彫刻家代米治一氏に依頼し、昭和46年9月、田辺駅前にこの像を建てた。  
毎年10月第一金曜日・土曜日に弁慶祭りが行われる。



弁慶が生まれた場所と言われている闘鶏神社。

## ～産科医療雑感～



産婦人科主任部長 中川 康

「里帰り出産したいのですが分娩予約にいつ頃受診したらいいですか」

よくある問い合わせの電話に「分娩制限はしていないので分娩予約は必要ないです。34週頃までに紹介状をもらって受診してください。」と返事、ほどなく実家のお母さんから確認の電話「本当に分娩予約は必要ないのですか。」どうしてこんなことが起こるか、都市部の分娩取り扱い施設の厳しい現状が理由でしょうか。集約化された分娩取り扱い施設は減少を続け、ここ7年間で14.3%減少、2014年には1097施設になり数年後には700施設程度になるという予想もあります。そういった施設が、医療安全面からも分娩制限を行い（当院の医師数、助産師数と同数の施設であれば取り扱い分娩数は年間600件程度に制限するのが妥当でしょうが）、特に都市部で妊娠すると、分娩施設の確保が大変なようです。徳島の人気のある産婦人科のHPをみると里帰り出産希望者は妊娠12週までに分娩予約のために受診するように書かれています。多くの分娩施設が同様です。なぜ当院は分娩予約のための受診を指示しないか、理由は簡単です、外来の患者数が多く、結果的に長時間待たいただくのが気が引けるからです。本来は里帰り出産もハイリスク因子のひとつであり妊娠初期、中期に受診していただくのが理想ですが、今のところ分娩制限も行う予定はないので、34週頃受診してくださいということになります。いつまで頑張れるかはわかりませんが。

十数年前、分娩数が減少し産科部門は赤字部門といわれることが多く、先輩の部長たちが苦勞される後ろ姿をみて

きました。ところが分娩数以上に産科医師が減少し、分娩施設の集約化が起こり一施設の分娩数が増加すると利益率の高い部門に変わるんだと、四国の大病院の院長（産婦人科医）にいわれました。確かに分娩も、帝王切開も高額の使い捨て医療器具や診療材料を使用することもなく人件費の比重が高く、12年前、年間200件程度の分娩を行っていたスタッフ数と現在800件に分娩件数が増加したスタッフ数を比較しても決して4倍でなく、せいぜい1.5倍程度ですから利益率はかなりよくなっているはずだと推測しています。

最近、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会が「産婦人科医師の勤務実態調査」を発表、マスコミにも取り上げられていました。産婦人科医師は増加しているものの50歳以下では女性医師が既に男性を上回っています。男性のキャリアパスをこれまでの実績で推測すると男性医師は70歳前後まで分娩に携わり周産期医療を支えてきたそうです。女性医師は若手が大多数を占め40歳以上はわずかでキャリアパスを推測できないそうです。つまり女性医師が今度どのような形態で就労を継続するかが極めて重要で、今後の周産期医療供給体制を大きく左右する可能性があるかと報告しています。つまり、年老いた男性産科医師が力尽きる10年後の地方の周産期医療は絶望的ということになります。

そんなことを妄想しながら診療を続ける毎日です。まとまりのない文章ですいません。

## 十徳ナイフ?の腎臓内科



腎臓内科  
是枝 大輔

ごあいさつ

腎臓内科の是枝と申します。今回は少しお時間をいただき当科の概要と現状・今後の展望などにつきまして簡単にまとめさせていただきたいと思っております。

そもそも「腎臓内科」とは?

腎臓内科のおおまかな定義としては、「腎臓・尿路系の疾患を中心に、診療研究する内科学から発展していった医学の一分野。同じ領域を扱う外科学の領域に泌尿器科学がある。」とされています。つまり、「腎臓が悪くなる病態を扱う内科」といったところでしょうか。では腎臓が悪くなるとどのような症状が出るのか、というと、腎臓はどのような働きをする臓器かということになります。腎臓は血管の塊の臓器でいわゆる不要物の処理や必要なものの再吸収・貧血や骨の状態の維持に重要な役割を持っています。具体的な病気としては、IgA腎症などの糸球体腎炎や、慢性腎臓病(CKD)、急性腎障害、尿細管・間質疾患やそこに付随する電解質異常、酸塩基平衡異常等様々となります。

都会と地方の腎臓内科医

都会の腎臓内科と地方の腎臓内科には大きな差異があります。一概には言えませんが、都会の腎臓内科は純粋にいわゆる内科の業務をメインとしていることが大半です。腎臓の機能が保たれている間は腎臓内科が、透析が必要となってきた場合には血管外科によってアクセスの作成が行われ、最終的には透析医によって透析管理がなされるということが一般的になっています。しかしながら医師数が絶対的に少ない地方ではそういうわけにはいきません。僕ら地方の腎臓内科医は、腎臓内科もしつつ、時にはアクセス管理もし、最終的には透析にも携わらせていただいている、いわゆる「十徳ナイフ腎臓内科医」になるのです。どちらのスタンスも一長一短とは思いますが、現状としてはこの様な感じなのです。

さらに当院ではICUでの集中治療も実施されており、そこに付随する急性血液浄化については当科が担当させていただいております。急性血液浄化にはこれまでの、「緩徐にやさしく透析をする」といったことを目的としたCHDF療法や、「血漿中にある特異的な物質を除去すること」を目的とした血漿交換療法などがあります。特筆すべきなのは、いわゆる「拡散」と「濾過」といった原理を応用して用いられてきたCHDFの概念の中に、「吸着」という概念が加わってきていることです。これまでも急性薬物中毒や高エンドトキシン血症等の際にそのものだけを取り除くのみという意味での「吸着」療法は実施されていましたが、ここ最近の趨勢としての「吸着」はこれまでと少し違います。つまり、CHDFに用いる膜自体が一定の物質を吸着することで病態に対応するという考えで、これまでターゲットとされていたような炎症性の物質よりも根本となるサイトカインなどをターゲットとしています。特筆すべきなのは、これまでCHDF自体は腎機能が極端に低下した状態でのみ使用できていましたが、一部の膜の中には重症感染症のみの状態でも使用できる場合もあり今後の治療のbreakthroughとなる可能性も十分あると考えています。

最後に

現在当科の医師数は3名。決して多い数ではないですが、それぞれ3名共に「十徳ナイフ」としての役割を果たせるように努めております。これからも皆様のご協力とご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 研修医日記



歯科口腔外科研修医

淵田 麻佑美

皆さん、こんにちは。歯科口腔外科の淵田麻佑美です。日々周りの先生方、看護師さん、コメディカルの皆さん、さらには患者さん自身にたくさんのことを学ばせて頂き紀南病院2階Eブロック歯科口腔外科外来にて元気に診療させて頂いております。

さて、今回の研修医日記…皆さんの胸を熱くしたであろう同期である荒井先生の前回の研修医日記によりハードルが上がってしまい、何を書こうか考えていたら気づけば締切間近。急いでパソコンのキーを打ち始めた次第です。

私は鹿児島で大学生活を過ごしました。皆さんは鹿児島と言われて何を思い浮かべるでしょうか。温泉、焼酎、桜島、黒豚、西郷どん…。鹿児島には魅力がたくさんあり載せきれませんので病院内で私を見かけた際はお声かけ下さい。語りましょう(笑)。鹿児島での生活は常に桜島の噴火との共存でした。鹿児島に初めて着いた時、外に並んでいる車が降灰により全てグレーで、市内の道路では除雪車ならぬ除灰車が灰を掃除しているのを見て衝撃を覚えたのを今でも忘れられません。そんな私ですが鹿児島で6年も生活していると鹿児島の天気予報ではおなじみの桜島上空の風向きを見て洗濯物を干せるようになりました。

大学生活ではバレーボール、バイト、飲み会、温泉、ときどき勉強と適度に真面目に過ごしました。部活動では良き先輩、頼りになる同期、かわいい後輩たちと出会い、たくさんの汗を流し、その後についてくる結果に皆で一喜一憂したのもついでこの間のように感じます。この時に培われた体力、精神力は今も診療に生きています。昨年4月より出身県である和歌山に戻り、ここ紀南病院で研修させて頂き、こちらでもたくさんの人と出会い、和歌山の魅力を再認識しております。鹿児島、和歌山と少し風土の違う場所での生活を過ごし、県民性の違う人々と出会えたことは自分の人生にとってかなりプラスになったと思います。県外の大学に快く進学させてくれた両親には今も頭があがりません。

人生は誰と出会うかで大きく変わると思います。歯科医師としてだけでなく、一人の人間として、どんな人と出会い、どんな学びをするか、どんな体験をするかによって、人生は楽しくもなり、辛く苦しいものになると思います。幸い、私はとても素敵な人たちに囲まれて、忙しくも楽しい毎日を過ごさせて頂いております。一期一会を大事にし、紀南病院での診療にこれからも臨みたいと思います。これからも皆さまご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



## 地域医療連携だより

晒医院院長  
井上 千津子



### ――皮膚科を選んだ理由は何ですか？

父親が紀南病院で皮膚科と泌尿器科で勤務をしていました。また大学6年生の時、皮膚科と精神科とで悩んでいましたが、長島愛生園の原田先生に非常に感銘を受けたのがきっかけで、内科のように音を聞いたりするより実際目で見ることが出来るので皮膚科を選択しました。

### ――晒医院の特徴についてどのようなものがありますか？

皮膚科は、内科系から外科系まで幅広い疾患の症状があります。出来る限り都会と同じ治療が出来るよう心懸けています。今では、大阪警察病院を退職された前田先生に不定期で来て頂き、局所麻酔で出来る手術を行っており、その後のフォローを当院で行っています。

また、生物学的製剤については和歌山医大で行ってもらい、その後のフォローも行っています。

その他、パッチテストについてもアレルギーを揃え対応しています。さらに円形脱毛症については、ガイドラインにある局所免疫療法を行っていますが、保険対象外の治療のため自費の治療費は取っていません。また、紫外線治療のナローバンドやエキシマライトの治療も行い都会と同じレベルの治療に近づけています。

当院は、携帯やパソコンからの予約が可能となっています。しかしそれが出来ない高齢者の方からは不満がでているので、今後の対応も考えていかないとなりません。

### ――皮膚科を選択する医師の現状はどのようなものですか？

皮膚科を希望する医師は少なくはないですが、割的に女性が多いです。病院勤務が厳しいことが原因で、出産を機にパート等になってしまうケースがあります。

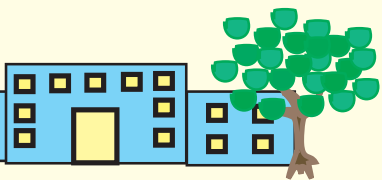
### ――晒医院の今後の展望について

病院で常勤医が2人位いてくれば、お互い連携も取りやすくなると思いますが、現在和歌山県南部をカバーできていないのが現状で、出来る範囲でやっていくしかないのです。

体力の衰え等もあり、一昨年から木曜日を終日休診としました。土曜日については、仕事をしている方や、学校へ通う方がいるので休診に出来ません。しかし、診療をする以上、ある程度のレベルできちんとした診療を心懸けています。

### ――現在、とてもご多忙な先生でおられますが、御自愛のうえ地域のために長く診察を続けていただきますようお願いいたします。

## 学校だより



### 看護の日

当校では、幅広い知識や経験から、看護に関連させて自己を振り返る機会となるように、看護の日を設けています。今年度は5月1日に、第15回全国障害者スポーツ大会[紀の国わかやま大会]選手団サポートボランティア参加のための養成講座として、オリエンテーション、要約筆記、手話について講演していただきました。全国障害者スポーツ大会の概要やサポートボランティアの役割、手話の方法などを具体的に説明していただき、学生は真剣に聞いていました。当校は主にフライングディスクを担当します。今後は応援グッズの作成などをしていく予定になっています。

### 看護学生体験

6月6日に当校の学生(2年生31名)が看護学生体験を行いました。地域の高校生に参加していただき、「脈拍・血圧測定、呼吸音聴取」を実施します。これを機会に看護の仕事に興味をもち、進路決定の参考にしていただけたらと思います。

# 病院のまど

## 第53回市民健康講座について

高齢者の方で転んだり、くしゃみをしたりといった、ちょっとしたきっかけで腰の骨がつぶれるように骨折をする例が増えていきます。これを医学用語で骨粗鬆症性椎体骨折といいます。最近の高齢化社会の現状で非常に増えている骨折です。その予防と治療法について学びませんか？

日時 平成27年7月26日(日)  
午後2:00~3:00

演題 骨粗鬆症性椎体骨折

演者 石口 明 (紀南病院 整形外科主任部長)

会場 紀南病院 3階講堂

## 編集後記

6月になると、梅雨の時期になります。この時期になると湿気や気温も上がって、黴や腐敗が心配な季節になります。長雨が続くと体調を壊しやすくなり、雨で身体が冷えると夏の体調にも影響します。皆で梅を食し、夏バテや食中毒を防ぎたいと思います。

K・K

## New face さ〜ん

- ① 出身地
- ② 趣味(特技・得意技)
- ① 一言アピール  
(敬称略)

### 《医師》



《耳鼻咽喉科》河野 洋

①和歌山県海草郡紀美野町②ドライブ  
③のんびりした性格です。よろしくお願  
いします。

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**  
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市築港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町2744番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市峰伏20番22号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市荒崎町56番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810